



泌尿器科紀要

綜説 尿管筋電図の臨床的応用.....土田 正義... 943

前立腺における線維素溶解酵素に関する研究
 第1編 雄性附属性腺分泌液の線維素溶解酵素について.....茶幡 隆之... 945

前立腺における線維素溶解酵素に関する研究
 第2編 前立腺組織 Activator について.....茶幡 隆之... 960

前立腺分泌液のコリンエステラーゼについて.....溝口 勝... 973

藤田病院10年間に経験した尿路結石の臨床.....藤田 幸雄・白井 千博・小西 喜朗... 978

上部尿路結石症の統計的観察
夏目 修・渡辺 昌美・塩 暢夫・川村 俊三・小津 堅輔... 982

精管化骨の1例.....原 信二・正司 武夫・宇野 博志... 989

小児に見られた精管・陰囊尿瘻の1例.....原 信二・正司 武夫・日高 義朗... 993

腎・尿管モニリアーシスの1例
新谷 浩・日野 豪・広川 栄助・山中 元滋・大原 孝... 997

Stein-Leventhal 症候群の1例.....平野 昭彦・吉田 泰男...1004

泌尿器科領域におけるウイントマイロン Nalidixic Acid の治験例.....後藤 薫
篠田 孝・伊藤 錠二・磯貝 和俊・木村泰治郎・大谷 文茂・石山 勝蔵...1011

泌尿器科領域における Cercine (Diazepam) の応用.....原 信二・佐藤 公彦...1015

泌尿器科領域における Panfuran S の使用経験
夏目 修・渡辺 昌美・塩 暢夫・川村 俊三・小津 堅輔...1020

泌尿器科領域における悪性腫瘍治療時の白血球減少に対する Cepharanthin の効果
稲田 務・吉田 修・宮川美栄子・福山 拓夫・山下 爵世...1027

編集後記・購読要項・投稿内規.....1036

Studies on Fibrinolytic Enzymes in the Prostatic Gland.

I. Fibrinolytic Activity of Fluid of Male Accessory Sexual Gland...T. Chabata... 945

Studies on Fibrinolytic Enzymes in the Prostatic Gland.

II. Activator in the Prostatic Tissue.....T. Chabata... 960

Cholinesterase Activity of the Prostatic Fluid.....M. Mizoguchi... 973

Clinical Study on Calcululous Diseases of the Urinary Tracts During the Period of the Past 10 Years at Fujita Clinic.....Y. Fujita, K. Shirai and Y. Konishi... 978

A Statistical Observation of Urolithiasis.....O. Natsume, M. Watanabe, N. Shio, S. Kawamura and K. Ozu... 982

A Case of Ossification of the Spermatic Cord.....S. Hara, T. Shoji and H. Uno... 989

A Case of Spermatic Cord-Scrotal Urinary Fistula Observed in a Child..... S. Hara, T. Shoji and Y. Hidaka... 993

Renal and Ureteral Moniliasis : A Case Report and Discussion.....H. Shintani, T. Hino, E. Hirokawa, M. Yamanaka and T. Ohara... 997

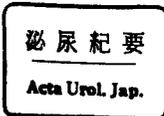
A Case of the Stein-Leventhal Syndrome.....A. Hirano and Y. Yoshida...1004

Clinical Use of Wintomylon (Nalidixic Acid) in the Field of Urology.....K. Gotoh, T. Shinoda, S. Ito, K. Isogai, T. Kimura, F. Ohtani and K. Ishiyama...1011

Use of "Cercine" (Diazepam) in the Field of Urology.....S. Hara and K. Sato...1015

Use of "Panfuran S" in the Field of Urology.....O. Natsume, M. Watanabe, N. Shio, S. Kawamura and K. Ozu...1020

On the Effects of Cepharanthin to Leukopenia in the Treatment of Malignant Tumor at Urological Clinic.....T. Inada, O. Yoshida, M. Miyakawa, T. Fukuyama and A. Yamashita...1027



京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor : Prof. Tsutomu INADA

編集後記

昭和40年度 予算留保ニ伴ウ科学研究費補助金交付予定額ノ変更ニツイテ ト云ウ事務連絡ガアル。ムズカシイ事ハ判ラヌガ 本年度ノ予算執行ニアタリ 予算節減ガ行ワレル事ニナリ。既ニ内定シタ金額ノ10%ヲ減額シテ交付スル事ニナツタト云ウ事ノヨウダ ソノ理由ハ種々アロウガ 結局ハ歳出ガ大キクナリ 歳入ガ小サクナツタ事デアロウ。既ニ公約シテイル減税ハ行ワネバナラム事モ 歳入減少ノ主ナ原因デアロウ 減税ハスルガ ソノシワ寄セノーツガ科学研究費等ノ削減トナツタノデアロウ。科学技術ノ振興ハ国家トシテノ大キナ方針ノーツデアアル管ダガ ソコー シワ寄せガ来タト云ウ事ハ コレヲ本気デ主張シテイタノデハナク ーツノ体裁トシテ掲ゲテイタ事ヲ示スモノデアロウ コノヨウニ重大ナ事柄ヲ一片ノ事務連絡ノ形デ通達シテクル事モ ドウカト思ウシ ソノ事ニ就テ 学者ヤ研究者等ハ何ラノ発言モセズニ黙々トソノ指示ニ従ツテイルノモ理解出来ヌシ 更ニ世上ニオケル報道機関トカ評論家等モ 知ツテイルノカ知ラヌノカ 一言モ問題ニシナイノハ 如何ナル理由デアロウカ。全テガ無気力 身勝手 無知デアアル。モノ云エバ唇寒シト沈黙シテイル。科学研究費ト云エバ学術会議ニ大イニ関係ガアル。然ルニソノ人達ハコレニ就テ何モ云ワズ 何モンナイノカ。自分ノ身ニ傷ガツカヌヨウニ 長イモノニハ巻カレロ ト云ウ考エデアロウカ。

大学病院ニ於ケル無給医員ガ問題ニナツテ来タ 教授カラ助手マデノ有給医師ヲ除ケバ ソノ他ハ見習ノヨウナモノデアアルカラ無給ガ当然ダト云ウ考エ方デアアル。白衣ノ支給サエナイ。全ク存在ヲ無視シタ形デアアル。トコロガ現実ニハ有給医師ダケデハ現在ノ大学病院ノ多端ナル業務ハ遂行シ得ナイノデアアル。業務ガ多ク 有給医師ノ定員ガ少イノデアアル。従ツテ ソレ以外ノ医師ノ助力ガナケレバ病院ノ使命ハ達成サレナイノデアアル。ソノ事ハ文部省ハ知ツテイル。然シ有給定員ヲ増ソウトノ熱意ヲ持タヌタメー イロイロト理屈ヲツケテ コノ問題ニ煩悶リデ 無給医員ヲ使用シテイルノデアアル。ソノクセ 一方デハ病院ノ事務系統ノ職員数ハ ドンドン増シテイル。コノ辺ニモ予算配分ノ不合理ト官僚氣質ノ弊害ガ現ワレテイルヨウダ。日本デハ政治家ヤ官僚ガ威張ツテイテ学問ヲ尊重シナイガ 学者側ニモ責任ガアル。学問 大学 病院 患者ヲ本当ニ愛シテイルノハ誰デアロウカ (昭和40年10月)

購読要項

△購読料改定のお知らせ：昭和41年度第12巻より、年間購読料金1,500円、1冊料金150円に改定いたしますので、よろしくお願します。

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金1,500円を前納する。1冊料金150円。払込みは振替口座番号京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附图はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。1) 中野：泌尿紀要、1：110、昭30。2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込みこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。